

10.1.7 景観

(1) 主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観

1) 調査結果の概要

① 主要な眺望点の状況

a. 文献その他の資料調査

(a) 調査地域

景観の影響が生じる範囲に関して、「景観対策ガイドライン（案）」（UHV 送電特別委員会環境部会立地分科会、昭和 56 年）によると、景観的にはほとんど気にならない垂直見込角は 1 度以下とされている。本事業における風力発電機の計画高さは最大で 180m であり、対象事業実施区域から約 10.3km の範囲内において垂直見込角が 1 度を超えると想定される。

これを踏まえ、風力発電機を垂直見込角 1 度超で視認できる可能性のある範囲として、風力発電機から 10.3km の範囲を基本とした。

(b) 調査方法

「第 3 章 3.1.6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況」に記載のとおり、文献その他の資料による情報収集並びに当該情報の整理を行った。

(c) 調査結果

調査地域内に存在する主要な眺望点は、表 10.1.7-1 及び図 10.1.7-1 に示すとおりである。

風力発電機を垂直見込角 1 度超で視認できる範囲（対象事業実施区域から 10.3km 圏）付近には、ヒスイテラス、朝日町立ふるさと美術館（旧なないろ KAN）など 11 箇所の主要な眺望点が分布している。

表 10.1.7-1 主要な眺望点の概要

No.	名称	概要
景観 01	ヒスイテラス	ヒスイ海岸に位置する施設。テラスや屋上からは、輝くヒスイ海岸の眺めを楽しみながらくつろぐことができる。周辺には海キャンプを楽しめる「朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場」が存在する。
景観 02	朝日町立ふるさと美術館 (旧なないろ KAN)	食事、陶芸体験、朝市での買物が楽しめる。緑豊かな芝生広場からは白馬・朝日岳の雄大な景色が見える。
景観 03	三峯グリーンランド	森林地にある広大なキャンプ場である。
景観 04	城山公園	標高248mに位置する歴史を秘めた城跡公園。富山湾、能登半島を一望に見渡すことができる。
景観 05	舟川べり	雪を抱く白馬岳・朝日岳の北アルプスを背景に、桜並木とチューリップ、菜の花が奏でる四重奏を楽しめる。清流に映える大木の桜トンネルも見事。
景観 06	舟見城址館	天守閣から黒部川扇状地と富山湾が一望できる城址である。
景観 07	負釣山	黒部川扇状地の田園風景や、富山湾を一望できる。
景観 08	上の山園地	面積が 6,000 m ² ある広い芝生広場で、児童に人気の遊び場である。休憩所、トイレ、ベンチなどのほかフィールドアスレチックもあり、家族連れで1日をのんびりと楽しく遊ぶことができる。
景観 09	宮崎	対象事業実施区域近傍の集落である。
景観 10	境	
景観 11	笹川	

資料：「富山県オープンデータポータルサイト 観光」（富山県 HP、閲覧：令和 8 年 4 月）

「とやま観光ナビ」（富山県・とやま観光推進機構 HP、閲覧：令和 8 年 4 月）

「あさひ暮らし旅」（一般社団法人朝日町観光協会 HP、閲覧：令和 8 年 4 月）

「にゅうぜんマニア」（入善町観光物産協会 HP、閲覧：令和 8 年 4 月）

「黒部めぐり」（一般社団法人黒部・宇奈月温泉観光局 HP、閲覧：令和 8 年 4 月）

「糸魚川観光ガイド」（一般社団法人糸魚川市観光協会 HP、閲覧：令和 8 年 4 月）

「とやまビューポイント 60 地点一覧」（富山県、令和 8 年 4 月）

「ゼンリン住宅地図 黒部市 下新川郡入善町 朝日町」（（株）ゼンリン、令和 6 年 8 月）

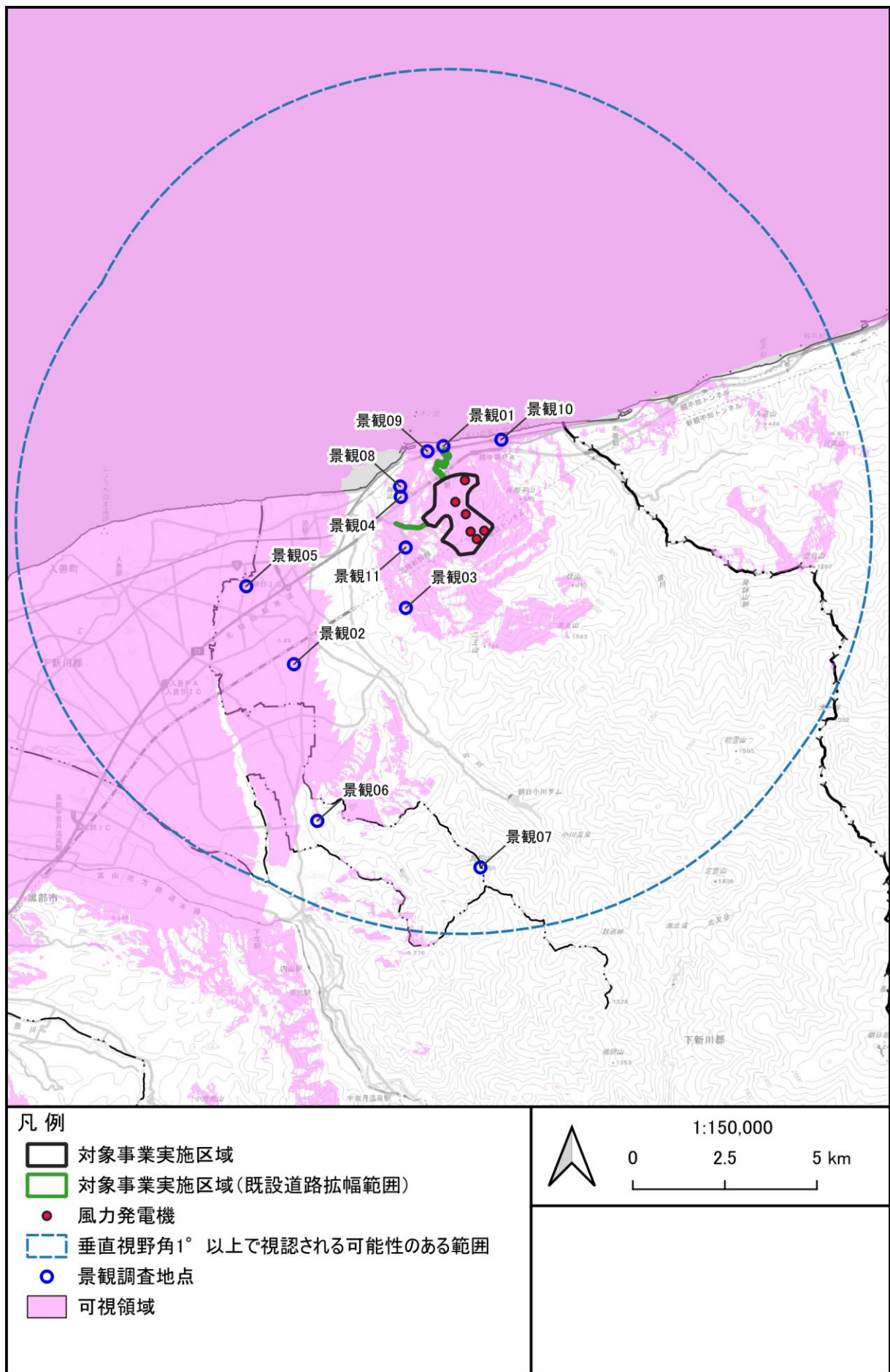


図 10.1.7-1 主要な眺望点の位置

② 景観資源の状況

a. 文献その他の資料調査

(a) 調査地域

対象事業実施区域及びその周囲とした。

(b) 調査方法

「第3章 3.1.6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況」に記載のとおり、文献その他の資料による情報収集並びに当該情報の整理を行った。

(c) 調査結果

調査地域内に存在する景観資源の位置及びその概要は表 10.1.7-2 及び図 10.1.7-2 に示しており、対象事業実施区域の周囲には30箇所の景観資源が分布している。

表 10.1.7-2 景観資源

No.	区分	名称
1	噴泉	境鉱泉
2		小川温泉
3	構造土	朝日岳の構造土
4	峡谷・溪谷	大平川溪谷
5		小川溪谷
6		北俣谷溪谷
7	河成段丘	舟見・棚山段丘
8		十二貫野段丘
9		音沢段丘
10		布施川左岸段丘
11		片貝川右岸段丘
12	滝	七重滝
13		魚留滝
14		滝（名称なし）
15		滝（名称なし）
16	湖沼	前朝日岳西斜面
17		朝日池（朝日岳北斜面）
18	湿原	長拇山北方湿原
19		長拇山西方湿原
20		前朝日岳西斜面の湿原
21		前朝日岳の湿原（夕日ヶ原）
22		朝日岳北斜面の湿原
23	湧泉群	黒部川扇状地入善湧水群
24		黒部川扇状地横山湧水群
25		黒部川扇状地泊湧水群
26		入善湧水帯
27		入善湧水帯（被圧水）
28	非火山性孤峰	犬ヶ岳
29		朝日岳
30	断層海岸	親不知～子不知海岸

資料：「第3回自然環境保全基礎調査 自然景観資源調査報告書（富山県）」（環境庁、平成元年）
「第3回自然環境保全基礎調査 自然景観資源調査報告書（新潟県）」（環境庁、平成元年）

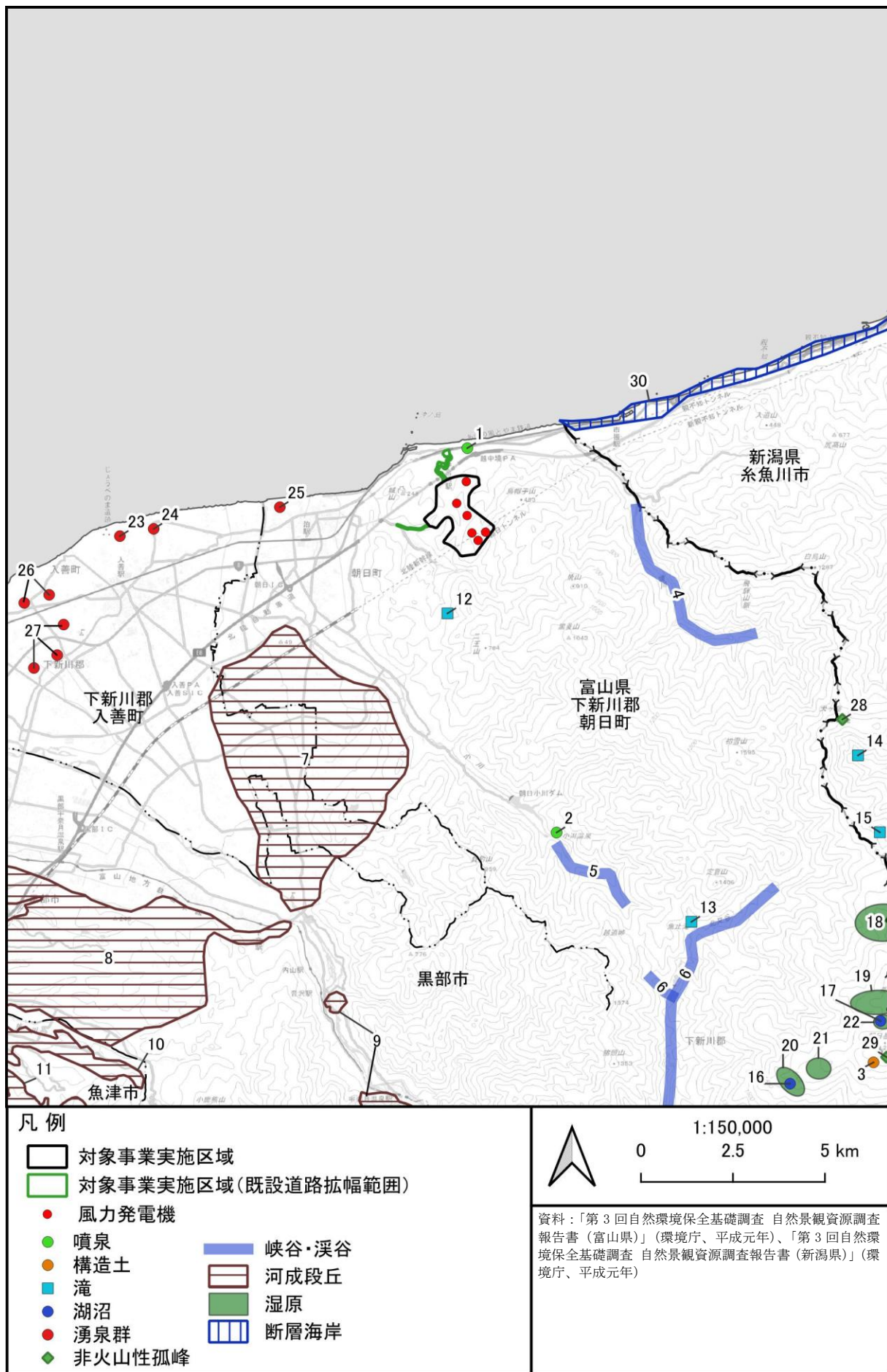


図 10.1.7-2 景観資源の位置

③ 主要な眺望景観の状況

a. 文献その他の資料調査

(a) 調査地域

風力発電機を垂直見込角 1 度超で視認できる可能性のある範囲として、風力発電機から約 10.3km の範囲を基本とした。

(b) 調査地点

表 10.1.7-1 及び図 10.1.7-1 に示す主要な眺望点において、対象事業実施区域を視認できる可能性のある、表 10.1.7-3 に示す 11 地点とした。

表 10.1.7-3 景観調査地点

調査地点		距離区分 方向	眺望景観		設定根拠
			主な眺望方向	主な視対象(参考資料より)	
景観 01	ヒスイテラス	中景 南南東	北北西	ヒスイ海岸（宮崎・境海岸）	風力発電機が垂直視野角1度以上で視認される可能性のある範囲内において、不特定かつ多数の利用がある地点を主要な眺望点として設定した。
景観 02	朝日町立ふるさと美術館 (旧なないろKAN)	遠景 北東	南東	朝日岳	
景観 03	三峯グリーンランド	遠景 北東	北	富山湾	
景観 04	城山公園	中景 東	東北東、西、北北西	富山湾、黒部川扇状地、能登半島、親不知～子不知海岸	
景観 05	舟川べり	遠景 東北東	南東	白馬岳、朝日岳、桜並木、菜の花畑、チューリップ畑	
景観 06	舟見城址館	遠景 北東	北、北西	黒部川扇状地、富山湾	
景観 07	負釣山	遠景 北	北西	黒部川扇状地、富山湾	
景観 08	上の山園地	中景 東南東	東北東、東、北、西北西	宮崎・境海岸、宮崎遺跡群台地、親不知～子不知海岸、富山湾	
景観 09	宮崎	中景 南東	全方位	—	風力発電機が垂直視野角1度以上で視認される可能性のある範囲内において、住宅等の存在する地区(生活環境の場)を主要な眺望点として設定した。
景観 10	境	中景 南西	全方位	—	
景観 11	笹川	中景 北東	全方位	—	

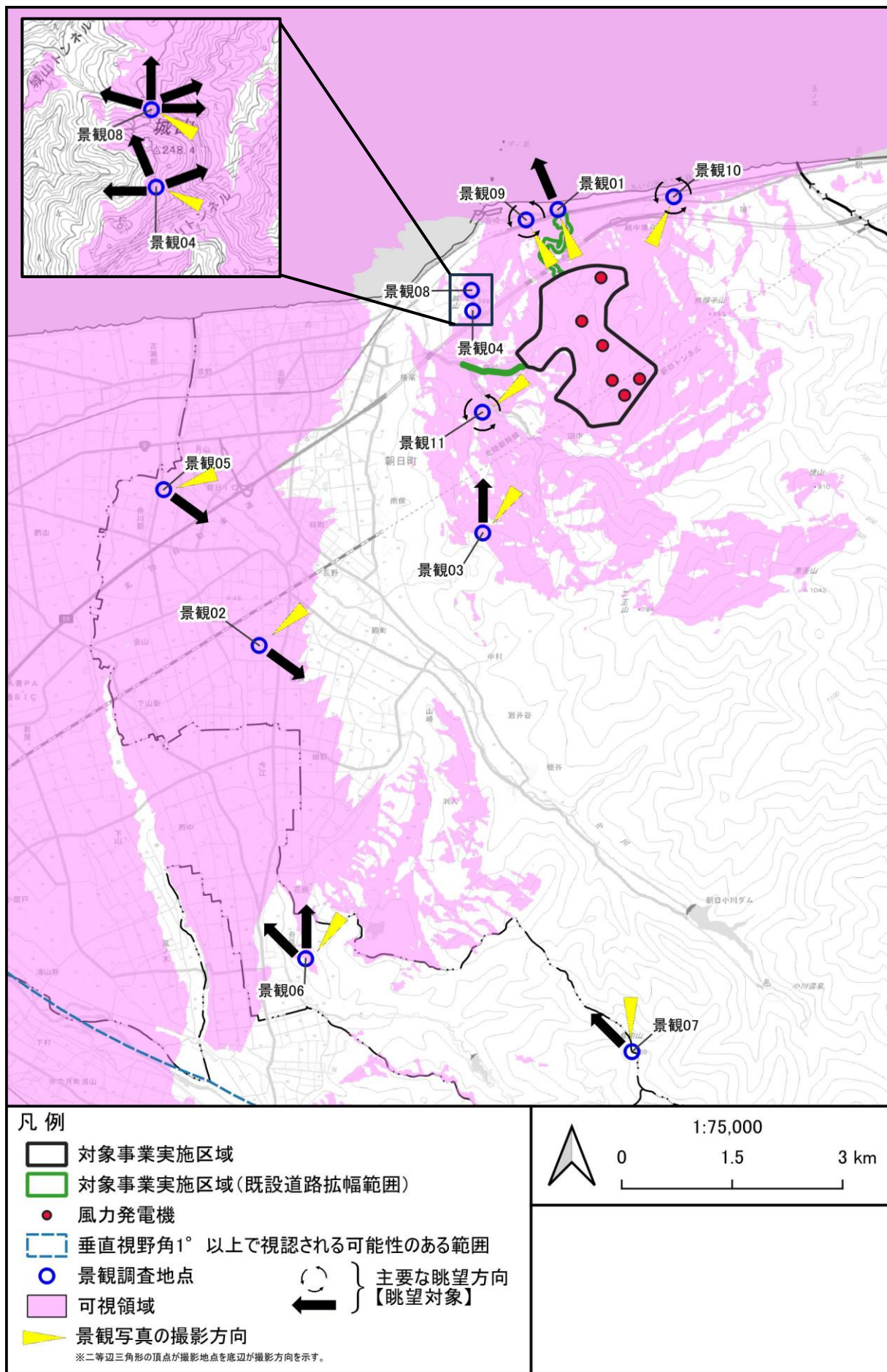
- 注：1. 距離区分は「富山県眺望景観保全指針」（富山県、令和4年）を参考とし、最寄りの風力発電機までの距離が、近景は約 0.4km 以内、中景は約 0.4～2.5km、遠景は約 2.5km 以上とした。
2. 方向は眺望点から最寄りの風力発電機の存在する方向を示す。
3. 参考資料等より取得した景観調査地点における主要な眺望方向は、図 10.1.7-3 図において矢印で示した。
4. 「—」は参考資料等に眺望景観の記載がないことを示す。

(c) 調査方法

「①主要な眺望点の状況」及び「②景観資源の状況」の調査結果を踏まえ、調査地点における主要な眺望景観及び眺望方向を抽出した。

(d) 調査結果

自治体が発行しているパンフレットや、ホームページ等の収集した資料から得られた景観調査地点における主要な眺望方向を眺望対象と併せて図 10.1.7-3 に示す。



b. 現地調査

(a) 調査地点

主要な眺望点として、表 10.1.7-3 及び図 10.1.7-3 に示した風力発電機が視認できる可能性のある 11 地点とした。

(b) 調査期間

調査期間は以下のとおりであり、晴天日を基本とした。

秋季：令和 6 年 10 月 25 日(金)、令和 6 年 11 月 8 日(金)

冬季：令和 7 年 1 月 18 日(土)、令和 7 年 2 月 3 日(日)

春季：令和 7 年 4 月 7 日(月)、令和 7 年 4 月 9 日(水)、令和 7 年 5 月 13 日(火)

夏季：令和 7 年 7 月 23 日(水)、令和 7 年 7 月 25 日(金)、令和 7 年 7 月 30 日(水)

(c) 調査方法

対象とした主要な眺望点において、現地を踏査した上で、風力発電機が視認できると予測される場所において、風力発電機の設置方向における写真撮影及び目視確認を行った。なお、写真撮影には、APS-C サイズのデジタルミラーレス一眼レフカメラを使用した。写真撮影の画角は 35 mm フィルム換算で焦点距離 28 mm を目安に撮影を行い、人の視野に近いとされる水平画角約 60° ※の範囲を基本とした。

※参考：「自然環境アセスメント技術マニュアル」（自然環境アセスメント研究会、平成 7 年）

(d) 調査結果

主要な眺望景観の状況及び写真撮影地点周辺の状況等の調査結果は、表 10.1.7-4 に示すとおりである。

表 10.1.7-4(1) 主要な眺望景観及び景観写真撮影地点の状況

調査地点	景観 01：ヒスイテラス	
写真撮影 地点周辺の 状況	・最寄りの風力発電機までの距離：約 1.1km ・施設屋上にはテラスが設置されており、ヒスイ海岸を眺めることができる。	
主要な眺望景 観の方向の 状況	・主な視対象はヒスイ海岸方向（宮崎・境海岸）であり、主要な眺望景観の方向と風力発電機方向は逆方向となる。	
対象事業実施 区域方向の 状況	【春季】 	【夏季】 
	【秋季】 	【冬季】 

表 10.1.7-4(2) 主要な眺望景観及び景観写真撮影地点の状況

調査地点	景観 02：朝日町立ふるさと美術館（旧なないろ KAN）	
写真撮影 地点周辺の 状況	・最寄りの風力発電機までの距離：約 6.0km ・芝生広場から朝日岳や白馬岳を眺めることができる。 ・館内では、展示室や体験学習室、ラウンジなどが利用可能である。	
主要な眺望景 観の方向の 状況	・主な視対象は朝日岳であり、主な眺望景観の方向と風力発電機方向は異なる。	
対象事業実施 区域方向の 状況	【春季】 	【夏季】 
	【秋季】 	【冬季】 

表 10.1.7-4(3) 主要な眺望景観及び景観写真撮影地点の状況

調査地点	景観 03：三峯グリーンランド	
写真撮影 地点周辺の 状況	・最寄りの風力発電機までの距離：約 2.7km ・広葉樹に囲まれた山間の野営場で、芝生広場、炊事施設が整備されている。 ・展望小屋からは、富山湾を眺めることができる。	
主要な眺望景 観の方向の 状況	・主な視対象は富山湾であり、主要な眺望景観の方向と風力発電機方向は一部重なる。	
対象事業実施 区域方向の 状況	【春季】 	【夏季】 
	【秋季】 	【冬季】 アクセス道路積雪のため、 調査不可

表 10.1.7-4(4) 主要な眺望景観及び景観写真撮影地点の状況

調査地点	景観 04：城山公園	
写真撮影 地点周辺の 状況	・最寄りの風力発電機までの距離：約 1.5km ・城山公園は、朝日県立自然公園内の城山山頂で宮崎城跡にあり、城跡からは、東方向に天嶮親不知、西方向に富山湾と黒部川扇状地一帯を眺めることができる。	
主要な眺望景 観の方向の 状況	・主な視対象は富山湾、黒部川扇状地、能登半島、親不知～子不知海岸であり、主要な眺望景観の方向と風力発電機方向は一部重なる。	
対象事業実施 区域方向の 状況	【春季】 	【夏季】 
	【秋季】 	【冬季】 

表 10.1.7-4(5) 主要な眺望景観及び景観写真撮影地点の状況

調査地点	景観 05：舟川べり	
写真撮影 地点周辺の 状況	・最寄りの風力発電機までの距離：約 6.1km ・春季には、北アルプスの山々を背景に、舟川べりの桜並木、チューリップ、菜の花を眺めることができ、「春の四重奏」を楽しめる。	
主要な眺望景 観の方向の 状況	・主な視対象は白馬岳、朝日岳、桜並木、菜の花畑、チューリップ畑であり、主要な眺望景観の方向と風力発電機方向は一部重なる。	
対象事業実施 区域方向の 状況	【春季】 	【夏季】 
	【秋季】 	【冬季】 

表 10.1.7-4(6) 主要な眺望景観及び景観写真撮影地点の状況

調査地点	景観 06：舟見城址館	
写真撮影 地点周辺の 状況	・最寄りの風力発電機までの距離：約 8.8km ・中世末の山城跡に建てられた歴史博物館で、館内には展示室もある。 ・天守閣や城址館建物裏手からは、黒部川扇状地や富山湾が一望できる。	
主要な眺望景 観の方向の 状況	・主な視対象は黒部川扇状地、富山湾であり、主要な眺望景観の方向と風力発電機方向は異なる。	
対象事業実施 区域方向の 状況	【春季】 	【夏季】 
	【秋季】 	【冬季】 

表 10.1.7-4(7) 主要な眺望景観及び景観写真撮影地点の状況

調査地点	景観 07：負釣山	
写真撮影 地点周辺の 状況	・最寄りの風力発電機までの距離：約 8.9km ・登山道が整備され、山頂からは黒部川扇状地の田園風景や富山湾を一望できる。	
主要な眺望景 観の方向の 状況	・主な視対象は黒部川扇状地、富山湾であり、主要な眺望景観の方向と風力発電機方向は異なる。	
対象事業実施 区域方向の 状況	【春季】 	【夏季】 
	【秋季】 	【冬季】 アクセス道路積雪のため、 調査不可

表 10.1.7-4(8) 主要な眺望景観及び景観写真撮影地点の状況

調査地点	景観 08：上の山園地	
写真撮影 地点周辺の 状況	・最寄りの風力発電機までの距離：約 1.6km ・広い芝生広場があるほか、休憩所、トイレ、ベンチなどが整備されている。	
主要な眺望景 観の方向の 状況	・主な視対象は宮崎・境海岸、宮崎遺跡群台地、親不知～子不知海岸、富山湾であり、主 な眺望景観の方向と対象事業実施区域方向は異なる。	
対象事業実施 区域方向の 状況	【春季】 	【夏季】 
	【秋季】 	【冬季】 

表 10.1.7-4(9) 主要な眺望景観及び景観写真撮影地点の状況

調査地点	景観 09：宮崎	
写真撮影 地点周辺の 状況	・最寄りの風力発電機までの距離：約 1.3km ・対象事業実施区域の北西側に位置し、住宅等が存在する宮崎地区である。	
主要な眺望景 観の方向の 状況	本調査地点は、住宅等の存在する地区（生活環境の場）として設定しており、特定の主要な眺望景観の方向はない。	
対象事業実施 区域方向の 状況	【春季】 	【夏季】 
	【秋季】 	【冬季】 

表 10.1.7-4(10) 主要な眺望景観及び景観写真撮影地点の状況

調査地点	景観 10：境
写真撮影地点周辺の状況	・最寄りの風力発電機までの距離：約 1.5km ・対象事業実施区域の北東側に位置し、住宅等が存在する境地区である。
主要な眺望景観の方向の状況	本調査地点は、住宅等の存在する地区（生活環境の場）として設定しており、特定の主要な眺望景観の方向はない。
対象事業実施区域方向の状況	【春季】  【夏季】  【秋季】  【冬季】 

表 10.1.7-4(11) 主要な眺望景観及び景観写真撮影地点の状況

調査地点	景観 11：笹川	
写真撮影地点周辺の状況	・最寄りの風力発電機までの距離：約 1.9km ・対象事業実施区域の西側に位置し、住宅等が存在する笹川地区である。	
主要な眺望景観の方向の状況	本調査地点は、住宅等の存在する地区（生活環境の場）として設定しており、特定の主要な眺望景観の方向はない。	
対象事業実施区域方向の状況	【春季】 	【夏季】 
	【秋季】 	【冬季】 

2) 予測及び評価の結果

① 土地又は工作物の存在及び供用

a. 地形改変及び施設の存在

(a) 環境保全措置

地形改変及び施設の存在に伴う景観への影響を低減するための環境保全措置は、以下のとおりである。

- ・風力発電機は、景観との調和を図るため、明度・彩度を抑えた塗装とする。
- ・既存道路等を活用することで樹木の伐採を最小とし、造成により生じた切盛法面は、地盤の状況に応じた適切な緑化を行い、植生の早期回復を図る。
- ・変電設備と風力発電施設を接続する送電線については、可能な限り地中埋設とする。

(b) 予測

ア. 予測地域

対象事業実施区域及びその周囲とした。

イ. 予測地点

表 10.1.7-3 及び図 10.1.7-3 のとおり、主要な眺望点 11 地点とした。

ウ. 予測対象時期

全ての風力発電所施設が完成した時期とした。

エ. 予測手法

(ア) 主要な眺望点及び景観資源

主要な眺望点及び景観資源の位置と対象事業実施区域を重ねることにより、影響の有無を予測した。

(イ) 主要な眺望景観

主要な眺望点から撮影した現状の眺望景観の写真に、将来の風力発電施設の完成予想図を合成するフォトモンタージュ法により、眺望の変化の程度を視覚的表現によって予測した。

ハ. 予測結果

(ア) 主要な眺望点及び景観資源

主要な眺望点及び景観資源は、全て対象事業実施区域外にあるため、対象事業の実施による改変等の直接的な影響はないと予測する。

(イ) 主要な眺望景観

垂直見込角の大きさに応じた風力発電機の見え方について整理した知見（「平成 28 年度～平成 29 年度成果報告書 風力発電等導入支援事業／環境アセスメント調査早期実施実証事業／環境アセスメント迅速化研究開発事業 既設風力発電施設等における環境影響実態把握Ⅰ」（新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）、平成 30 年 2 月）（報告書管理番号：20180000000673））は表 10.1.7-5 に、垂直見込角の大きさに応じた鉄塔の見え方について整理した知見（「景観対策ガイドライン（案）」（UHV 送電特別委員会環境部会立地分科会、昭和 56 年））は表 10.1.7-6 に、主要な眺望点からの眺望景観の変化の程度の予測結果は表 10.1.7-7 に示すとおりである。

風力発電機の見え方に関する知見を踏まえ、垂直見込角が最大で 1.5 度以下となる「景観 02：朝日町立ふるさと美術館（旧なないろ KAN）」、「景観 05：舟川べり」については、「（風車は見えるが）気にならない」ものと予測する。

垂直見込角が 4 度程度からは「負の意味で風車を気にするようになる。」とされていることから、垂直見込角が最大で 3.4 度及び 3.6 度となる「景観 03：三峯グリーンランド」及び「景観 11：笹川」は、この水準に該当する可能性がある。これらの地点について、鉄塔の見え方に関する知見も併せて考慮すると、「圧迫感あまり受けにくい」水準と予測する。

また、風力発電機の見え方に関する知見によれば、垂直見込角が 8 度程度から、「圧迫感を覚え始める」とされており、「景観 01：ヒスイテラス」、「景観 04：城山公園」、「景観 08：上の山園地」、「景観 09：宮崎」、「景観 10：境」は、この水準に該当する可能性がある。ただし、鉄塔の見え方に関する知見を踏まえると、「圧迫感を受けるようになる」ほどの水準ではないと予測する。

「景観 06：舟見城址公園」及び「景観 07：負釣山」については、地形や建造物等で遮蔽され、風力発電機は視認できないと予測する。

フォトモンタージュ法による眺望景観の変化の予測結果は表 10.1.7-8 に示すとおりである。

表 10.1.7-5 風車景観に対する反応

垂直視野角 (単機の最大値) (度)	計測結果 (調査地点数)	風車景観に対する反応
0～0.5	6	← 約 1.5 度までは、(風車は見えるが) 気にならない
0.5～1.0	33	
1.0～1.5	33	
1.5～2.0	17	
2.0～3.0	34	
3.0～4.0	17	← 負の意味で風車を気にするようになる
4.0～5.0	15	
5.0～6.0	5	
6.0～8.0	8	← 風車に対し圧迫感を覚え始める
8.0～10.0	4	
10.0～12.0	4	
12.0～20.0	12	
20.0～	3	
計	191	

出典：「平成 28 年度～平成 29 年度成果報告書 風力発電等導入支援事業／環境アセスメント調査早期実施実証事業／環境アセスメント迅速化研究開発事業 既設風力発電施設等における環境影響実態把握 I」（新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、平成 30 年 2 月）(報告書管理番号：20180000000673)

表 10.1.7-6 垂直見込角と鉄塔の見え方に関する知見

垂直見込角	鉄塔の見え方
0.5°	輪郭がやっとわかる。季節と時間（夏の午後）の条件は悪く、ガスのせいもある。
1°	十分に見えるけれど、景観的にはほとんど気にならない。ガスがかかって見えにくい。
1.5～2°	シルエットになっている場合には良く見え、場合によっては景観的に気になり出す。シルエットにならず、さらに環境融和塗色がされている場合には、ほとんど気にならない。光線の加減によっては見えないこともある。
3°	比較的細部まで見えるようになり、気になる。圧迫感は受けない。
5～6°	やや大きく見え、景観的にも大きな影響がある（構図を乱す）。架線もよく見えるようになる。圧迫感はあまり受けない（上限か）。
10～12°	めいっばいに大きくなり、圧迫感を受けるようになる。平坦なところでは垂直方向の景観要素としては際立った存在になり周辺の景観とは調和しえない。
20°	見上げるような仰角にあり、圧迫感も強くなる。

出典：「景観対策ガイドライン（案）」(UHV 送電特別委員会環境部会立地分科会、昭和 56 年)

表 10.1.7-7(1) 主要な眺望点からの景観の予測結果

予測地点	風力発電機		予測結果	
	機体 No.	標高(m)	距離(km)	垂直見込角(度)
景観 01 ヒスイテラス	1	191	1.1	7.7
	2	235	1.6	5.5
	3	231	2.0	2.7
	4	432	2.7	3.1
	5	405	2.5	3.6
	6	410	2.6	3.0
	予測地点から視認可能な眺望景観及び 景観資源		ヒスイ海岸（宮崎・境海岸）、 親不知～子不知海岸	
	眺望景観のうち、風力発電機と同時に 予測地点から視認されるもの （写真において特定が可能なもの）		同時に視認できる眺望景観はない	
	景観資源のうち、風力発電機と同時に 予測地点から視認されるもの （写真において特定が可能なもの）		同時に視認できる景観資源はない	

注：1. 距離、垂直見込角については、撮影位置を基準として計測した。

2. 垂直見込角は、写真撮影地点と風力発電機設置位置の標高差及び直線距離上の地形を考慮して算出した。

表 10.1.7-7(2) 主要な眺望点からの景観の予測結果

予測地点	風力発電機		予測結果	
	機体 No.	標高(m)	距離(km)	垂直見込角(度)
景観 02 朝日町立ふるさと美術館 （旧なないろ KAN）	1	191	6.8	不可視
	2	235	6.2	不可視
	3	231	6.2	不可視
	4	432	6.0	0.6
	5	405	6.0	0.6
	6	410	6.3	0.1
	予測地点から視認可能な眺望景観及び 景観資源		朝日岳	
	眺望景観のうち、風力発電機と同時に 予測地点から視認されるもの （写真において特定が可能なもの）		同時に視認できる眺望景観はない	
	景観資源のうち、風力発電機と同時に 予測地点から視認されるもの （写真において特定が可能なもの）		同時に視認できる景観資源はない	

注：1. 距離、垂直見込角については、撮影位置を基準として計測した。

2. 垂直見込角は、写真撮影地点と風力発電機設置位置の標高差及び直線距離上の地形を考慮して算出した。

表 10.1.7-7(3) 主要な眺望点からの景観の予測結果

予測地点	風力発電機		予測結果	
	機体 No.	標高(m)	距離(km)	垂直見込角(度)
景観 03 三峯グリーンランド	1	191	3.8	2.0
	2	235	3.2	2.8
	3	231	3.0	3.0
	4	432	2.7	3.4
	5	405	2.7	3.4
	6	410	3.0	2.4
	予測地点から視認可能な眺望景観及び 景観資源		富山湾	
	眺望景観のうち、風力発電機と同時に 予測地点から視認されるもの (写真において特定が可能なもの)		富山湾	
	景観資源のうち、風力発電機と同時に 予測地点から視認されるもの (写真において特定が可能なもの)		同時に視認できる景観資源はない	

注：1. 距離、垂直見込角については、撮影位置を基準として計測した。

2. 垂直見込角は、写真撮影地点と風力発電機設置位置の標高差及び直線距離上の地形を考慮して算出した。

表 10.1.7-7(4) 主要な眺望点からの景観の予測結果

予測地点	風力発電機		予測結果	
	機体 No.	標高(m)	距離(km)	垂直見込角(度)
景観 04 城山公園	1	191	1.8	5.4
	2	235	1.5	6.1
	3	231	1.8	5.0
	4	432	2.4	3.8
	5	405	2.1	4.3
	6	410	2.5	3.6
	予測地点から視認可能な眺望景観及び 景観資源		富山湾、黒部川扇状地、 能登半島、親不知～子不知海岸	
	眺望景観のうち、風力発電機と同時に 予測地点から視認されるもの (写真において特定が可能なもの)		親不知～子不知海岸	
	景観資源のうち、風力発電機と同時に 予測地点から視認されるもの (写真において特定が可能なもの)		親不知～子不知海岸	

注：1. 距離、垂直見込角については、撮影位置を基準として計測した。

2. 垂直見込角は、写真撮影地点と風力発電機設置位置の標高差及び直線距離上の地形を考慮して算出した。

表 10.1.7-7(5) 主要な眺望点からの景観の予測結果

予測地点	風力発電機		予測結果	
	機体 No.	標高(m)	距離(km)	垂直見込角(度)
景観 05 舟川べり	1	191	6.6	1.0
	2	235	6.1	0.5
	3	231	6.3	0.4
	4	432	6.4	0.8
	5	405	6.3	1.1
	6	410	6.7	0.7
	予測地点から視認可能な眺望景観及び 景観資源		白馬岳、朝日岳、桜並木、 菜の花畑、チューリップ畑	
	眺望景観のうち、風力発電機と同時に 予測地点から視認されるもの (写真において特定が可能なもの)		桜並木 チューリップ畑	
	景観資源のうち、風力発電機と同時に 予測地点から視認されるもの (写真において特定が可能なもの)		同時に視認できる景観資源はない	

注：1. 距離、垂直見込角については、撮影位置を基準として計測した。

2. 垂直見込角は、写真撮影地点と風力発電機設置位置の標高差及び直線距離上の地形を考慮して算出した。

表 10.1.7-7(6) 主要な眺望点からの景観の予測結果

予測地点	風力発電機		予測結果	
	機体 No.	標高(m)	距離(km)	垂直見込角(度)
景観 06 舟見城址公園	1	191	10.1	不可視
	2	235	9.4	不可視
	3	231	9.3	不可視
	4	432	8.8	不可視
	5	405	8.9	不可視
	6	410	9.1	不可視
	予測地点から視認可能な眺望景観及び 景観資源		黒部川扇状地、富山湾、 舟見・棚山段丘	
	眺望景観のうち、風力発電機と同時に 予測地点から視認されるもの (写真において特定が可能なもの)		—	
	景観資源のうち、風力発電機と同時に 予測地点から視認されるもの (写真において特定が可能なもの)		—	

注：1. 距離、垂直見込角については、撮影位置を基準として計測した。

2. 垂直見込角は、写真撮影地点と風力発電機設置位置の標高差及び直線距離上の地形を考慮して算出した。

3. 「—」は予測結果が不可視のため、眺望景観又は景観資源と風力発電機が同時に視認できないことを示す。

表 10.1.7-7(7) 主要な眺望点からの景観の予測結果

予測地点	風力発電機		予測結果	
	機体 No.	標高(m)	距離(km)	垂直見込角(度)
景観 07 負釣山	1	191	10.5	不可視
	2	235	10.0	不可視
	3	231	9.6	不可視
	4	432	8.9	不可視
	5	405	9.1	不可視
	6	410	9.1	不可視
	予測地点から視認可能な眺望景観及び 景観資源		黒部川扇状地、富山湾、 舟見・棚山段丘	
	眺望景観のうち、風力発電機と同時に 予測地点から視認されるもの (写真において特定が可能なもの)		—	
	景観資源のうち、風力発電機と同時に 予測地点から視認されるもの (写真において特定が可能なもの)		—	

注：1. 距離、垂直見込角については、撮影位置を基準として計測した。
 2. 垂直見込角は、写真撮影地点と風力発電機設置位置の標高差及び直線距離上の地形を考慮して算出した。
 3. 「—」は予測結果が不可視のため、眺望景観又は景観資源と風力発電機が同時に視認できないことを示す。

表 10.1.7-7(8) 主要な眺望点からの景観の予測結果

予測地点	風力発電機		予測結果	
	機体 No.	標高(m)	距離(km)	垂直見込角(度)
景観 08 上の山園地	1	191	1.8	5.4
	2	235	1.6	5.7
	3	231	1.9	4.7
	4	432	2.5	3.5
	5	405	2.3	4.0
	6	410	2.6	3.4
	予測地点から視認可能な眺望景観及び 景観資源		宮崎・境海岸、宮崎遺跡群台地、 親不知～子不知海岸、富山湾	
	眺望景観のうち、風力発電機と同時に 予測地点から視認されるもの (写真において特定が可能なもの)		同時に視認できる眺望景観はない	
	景観資源のうち、風力発電機と同時に 予測地点から視認されるもの (写真において特定が可能なもの)		同時に視認できる景観資源はない	

注：1. 距離、垂直見込角については、撮影位置を基準として計測した。
 2. 垂直見込角は、写真撮影地点と風力発電機設置位置の標高差及び直線距離上の地形を考慮して算出した。

表 10.1.7-7(9) 主要な眺望点からの景観の予測結果

予測地点	風力発電機		予測結果	
	機体 No.	標高(m)	距離(km)	垂直見込角(度)
景観 09 宮崎	1	191	1.3	6.7
	2	235	1.6	3.5
	3	231	2.0	0.2
	4	432	2.8	1.1
	5	405	2.5	2.5
	6	410	2.7	2.2
	予測地点から視認可能な眺望景観及び 景観資源		視認可能な眺望景観及び景観資源 はない	
	眺望景観のうち、風力発電機と同時に 予測地点から視認されるもの (写真において特定が可能なもの)		—	
	景観資源のうち、風力発電機と同時に 予測地点から視認されるもの (写真において特定が可能なもの)		—	

注：1. 距離、垂直見込角については、撮影位置を基準として計測した。

2. 垂直見込角は、写真撮影地点と風力発電機設置位置の標高差及び直線距離上の地形を考慮して算出した。

3. 「—」は、視認可能な眺望景観及び景観資源が存在しないため、風力発電機と同時に視認されないことを示す。

表 10.1.7-7(10) 主要な眺望点からの景観の予測結果

予測地点	風力発電機		予測結果	
	機体 No.	標高(m)	距離(km)	垂直見込角(度)
景観 10 境	1	191	1.5	6.1
	2	235	2.1	3.4
	3	231	2.3	1.5
	4	432	2.8	2.4
	5	405	2.7	3.5
	6	410	2.6	1.5
	予測地点から視認可能な眺望景観及び 景観資源		視認可能な眺望景観及び景観資源 はない	
	眺望景観のうち、風力発電機と同時に 予測地点から視認されるもの (写真において特定が可能なもの)		—	
	景観資源のうち、風力発電機と同時に 予測地点から視認されるもの (写真において特定が可能なもの)		—	

注：1. 距離、垂直見込角については、撮影位置を基準として計測した。

2. 垂直見込角は、写真撮影地点と風力発電機設置位置の標高差及び直線距離上の地形を考慮して算出した。

3. 「—」は、視認可能な眺望景観及び景観資源が存在しないため、風力発電機と同時に視認されないことを示す。

表 10.1.7-7(11) 主要な眺望点からの景観の予測結果

予測地点	風力発電機		予測結果	
	機体 No.	標高(m)	距離(km)	垂直見込角(度)
景観 11 笹川	1	191	2.5	不可視
	2	235	1.9	0.6
	3	231	1.9	0.6
	4	432	2.0	2.0
	5	405	1.9	3.6
	6	410	2.2	0.1
	予測地点から視認可能な眺望景観及び 景観資源		視認可能な眺望景観及び景観資源 はない	
	眺望景観のうち、風力発電機と同時に 予測地点から視認されるもの (写真において特定が可能なもの)		—	
	景観資源のうち、風力発電機と同時に 予測地点から視認されるもの (写真において特定が可能なもの)		—	

注：1. 距離、垂直見込角については、撮影位置を基準として計測した。

2. 垂直見込角は、写真撮影地点と風力発電機設置位置の標高差及び直線距離上の地形を考慮して算出した。

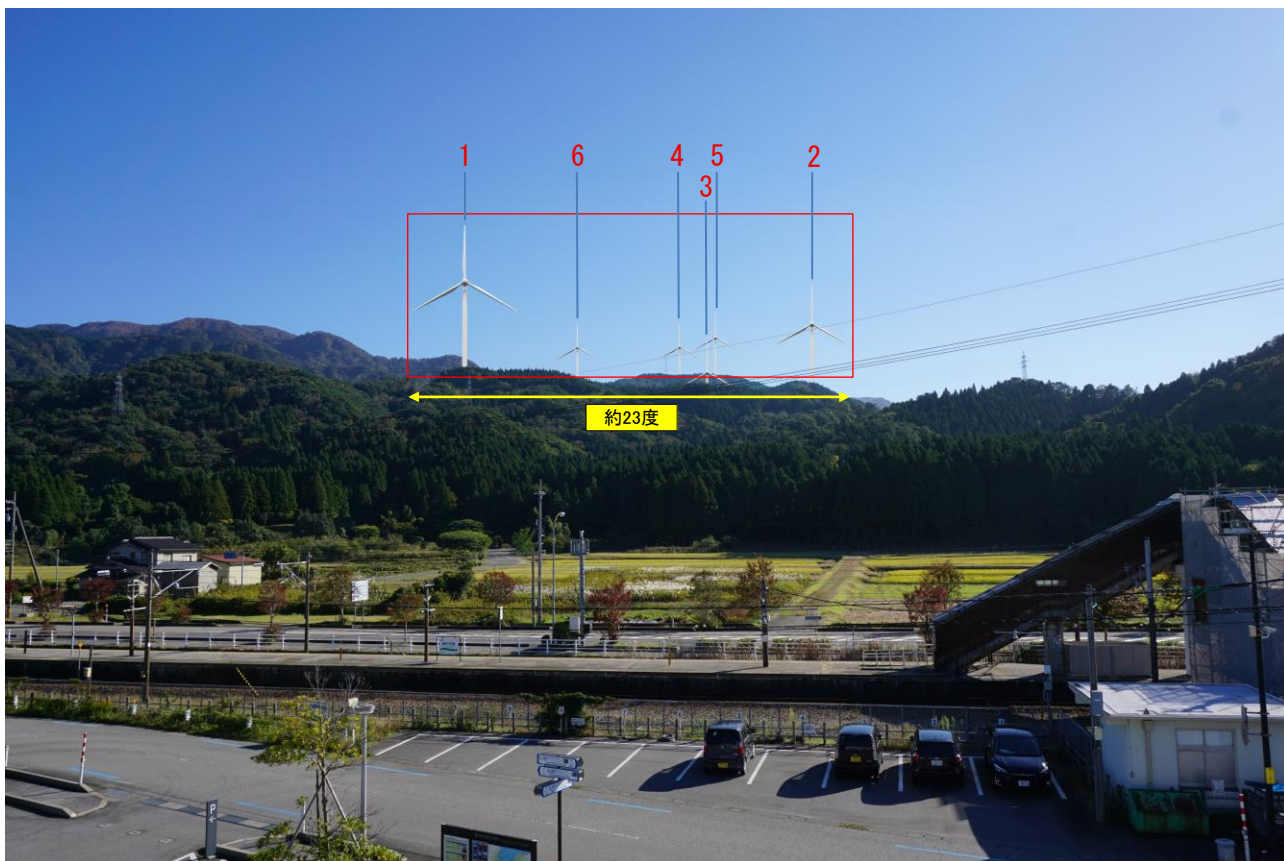
3. 「—」は、視認可能な眺望景観及び景観資源が存在しないため、風力発電機と同時に視認されないことを示す。

表 10.1.7-8(1) 眺望景観の変化の予測結果（景観 01:ヒスイテラス）

【現状】



【完成後】



写真の水平画角：約 60 度、撮影方位：南南東、撮影日：令和 6 年 11 月 8 日

表 10.1.7-8(2) 眺望景観の変化の予測結果（景観02：朝日町立ふるさと美術館（旧なないろKAN））

【現状】



【完成後】



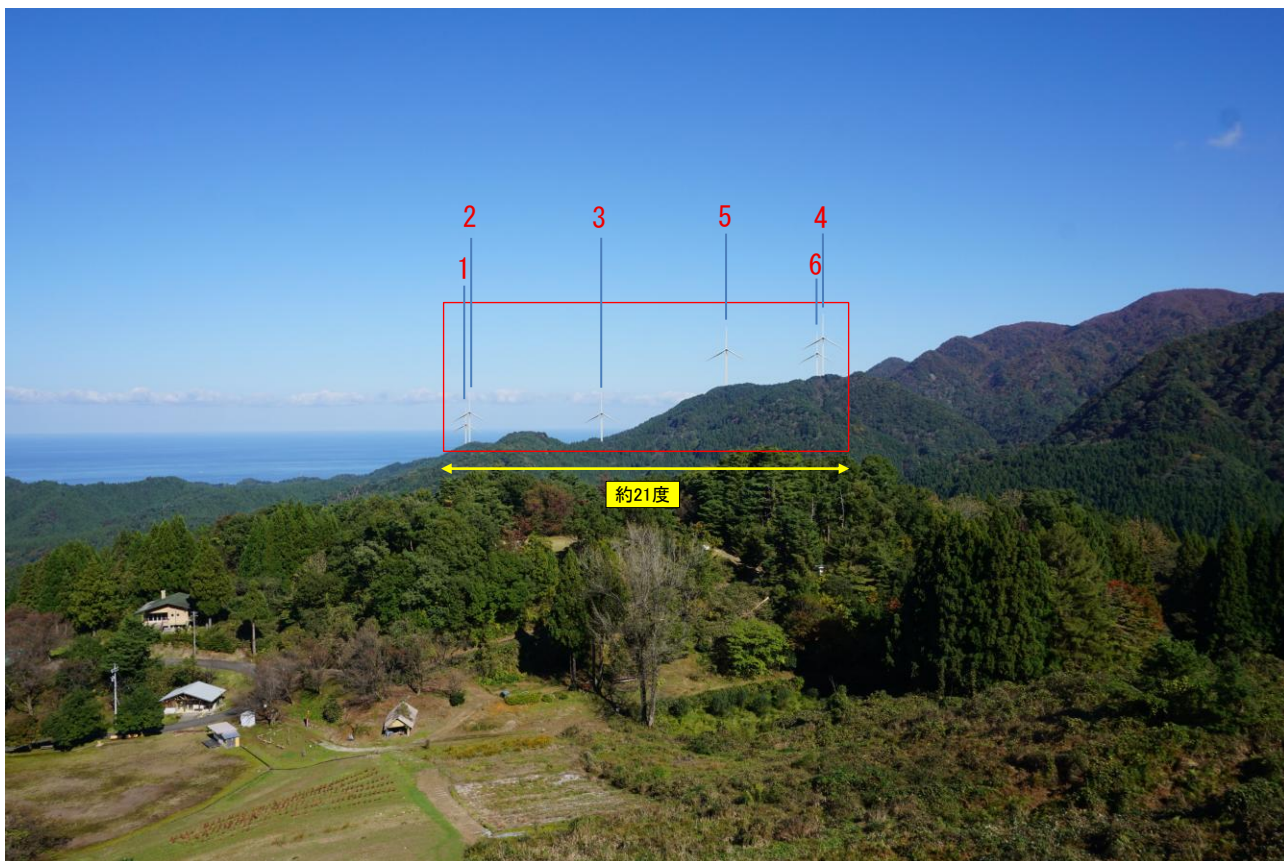
写真の水平画角：約 60 度、撮影方位：北東、撮影日：令和 7 年 4 月 9 日

表 10.1.7-8(3) 眺望景観の変化の予測結果（景観 03：三峯グリーンランド）

【現状】



【完成後】



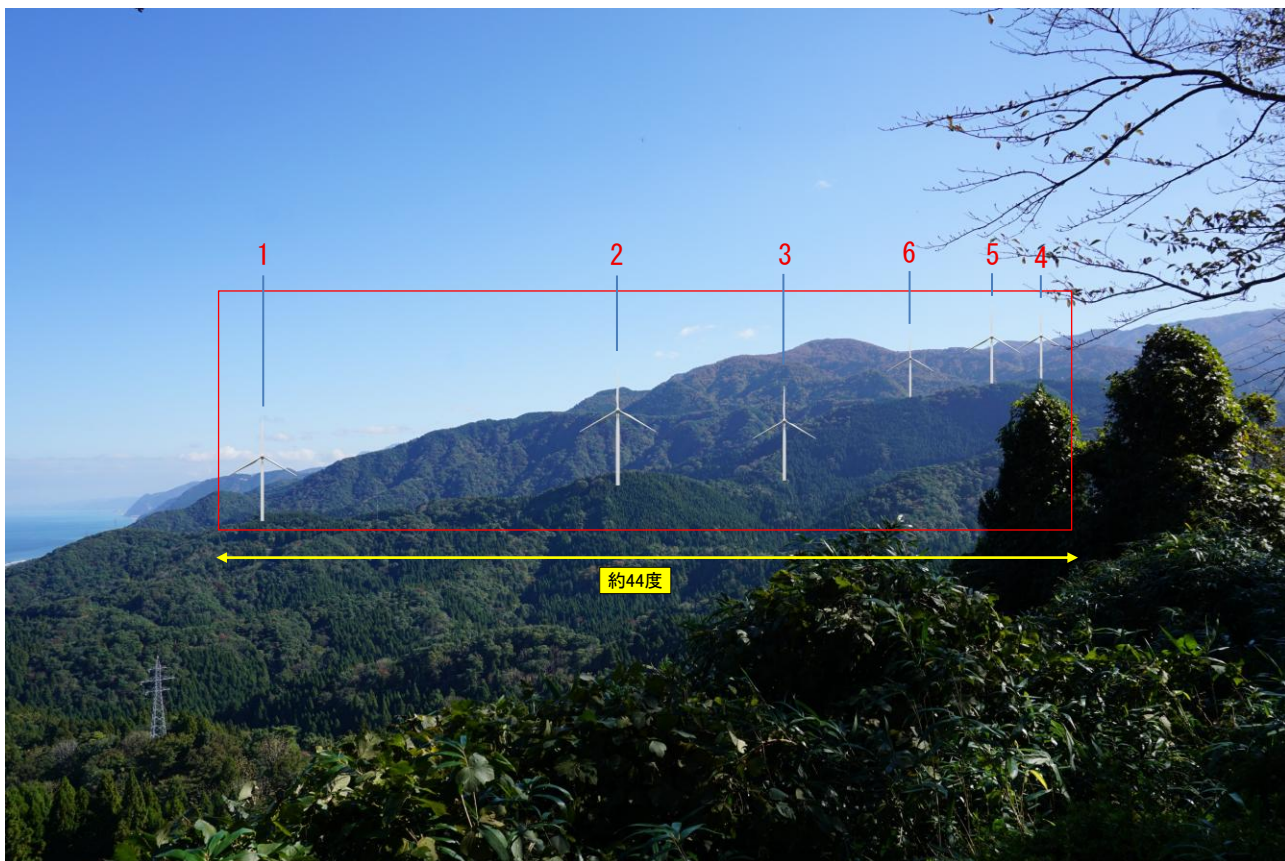
写真の水平画角：約 60 度、撮影方位：北東、撮影日：令和 7 年 11 月 8 日

表 10.1.7-8(4) 眺望景観の変化の予測結果（景観04：城山公園）

【現状】



【完成後】



写真の水平画角：約 60 度、撮影方位：東、撮影日：令和 6 年 11 月 8 日

表 10.1.7-8(5) 眺望景観の変化の予測結果（景観05：舟川べり）

【現状】



【完成後】



写真の水平画角：約 60 度、撮影方位：東北東、撮影日：令和 7 年 4 月 7 日

注：風力発電機の背景が晴天時の状況と同様となるよう、画像処理により青空を合成した。

表 10.1.7-8(6) 眺望景観の変化の予測結果（景観06：舟見城址館）

【現状】



【完成後】



写真の水平画角：約 60 度、撮影方位：北東、撮影日：令和 7 年 4 月 9 日

表 10.1.7-8(7) 眺望景観の変化の予測結果（景観 07：負釣山）

【現状】



【完成後】



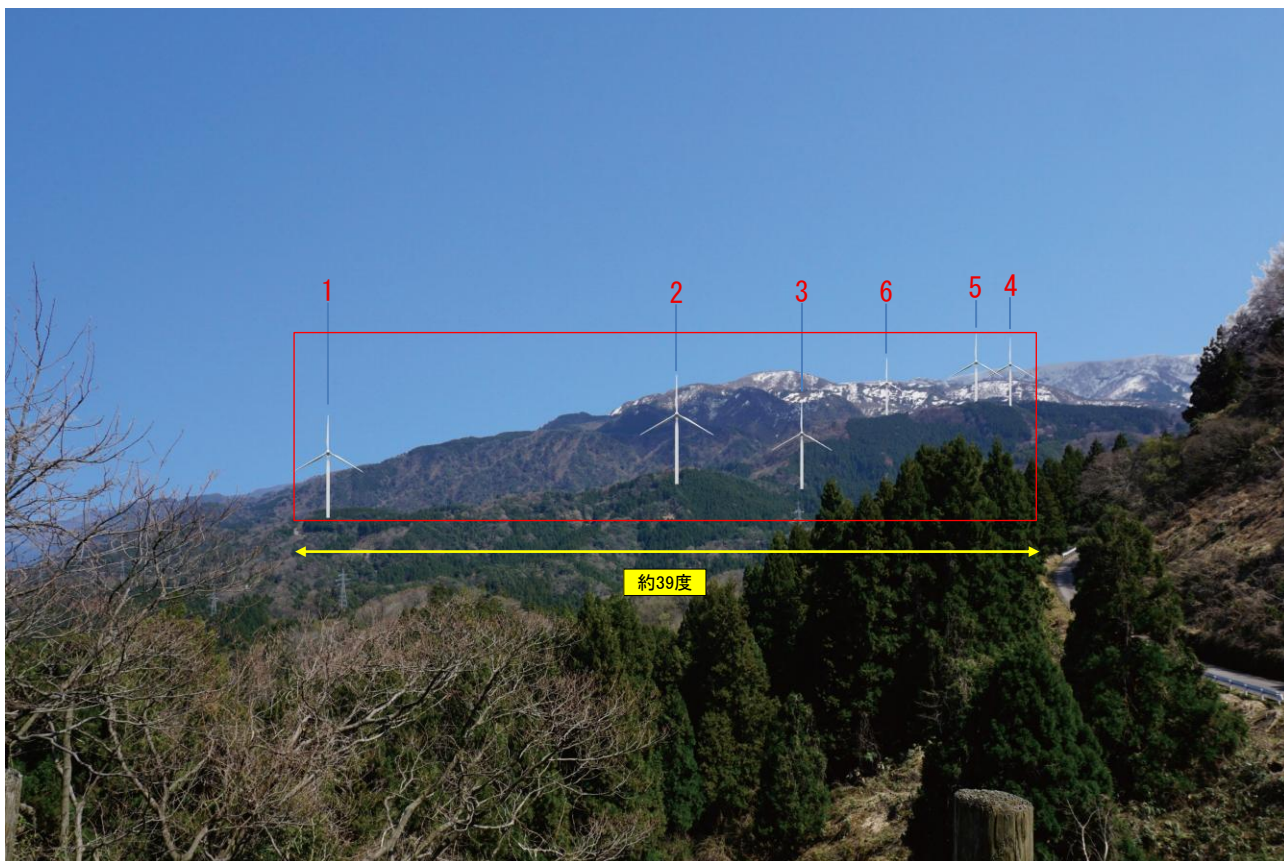
写真の水平画角：約 60 度、撮影方位：北、撮影日：令和 7 年 5 月 13 日

表 10.1.7-8(8) 眺望景観の変化の予測結果（景観08：上の山園地）

【現状】



【完成後】



写真の水平画角：約 60 度、撮影方位：東南東、撮影日：令和 7 年 4 月 9 日

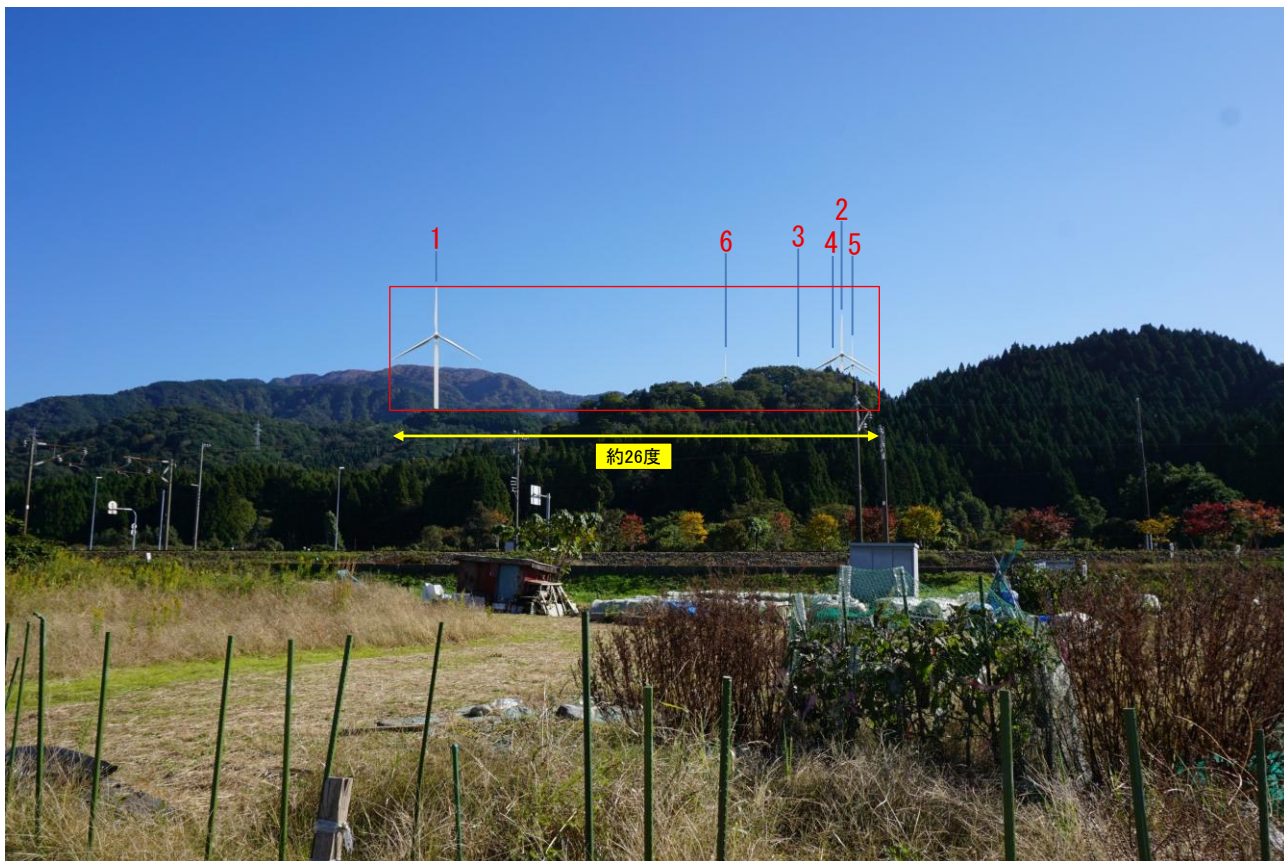
注：風力発電機の背景が晴天時の状況と同様となるよう、画像処理により青空を合成した。

表 10.1.7-8(9) 眺望景観の変化の予測結果（景観 09：宮崎）

【現状】



【完成後】



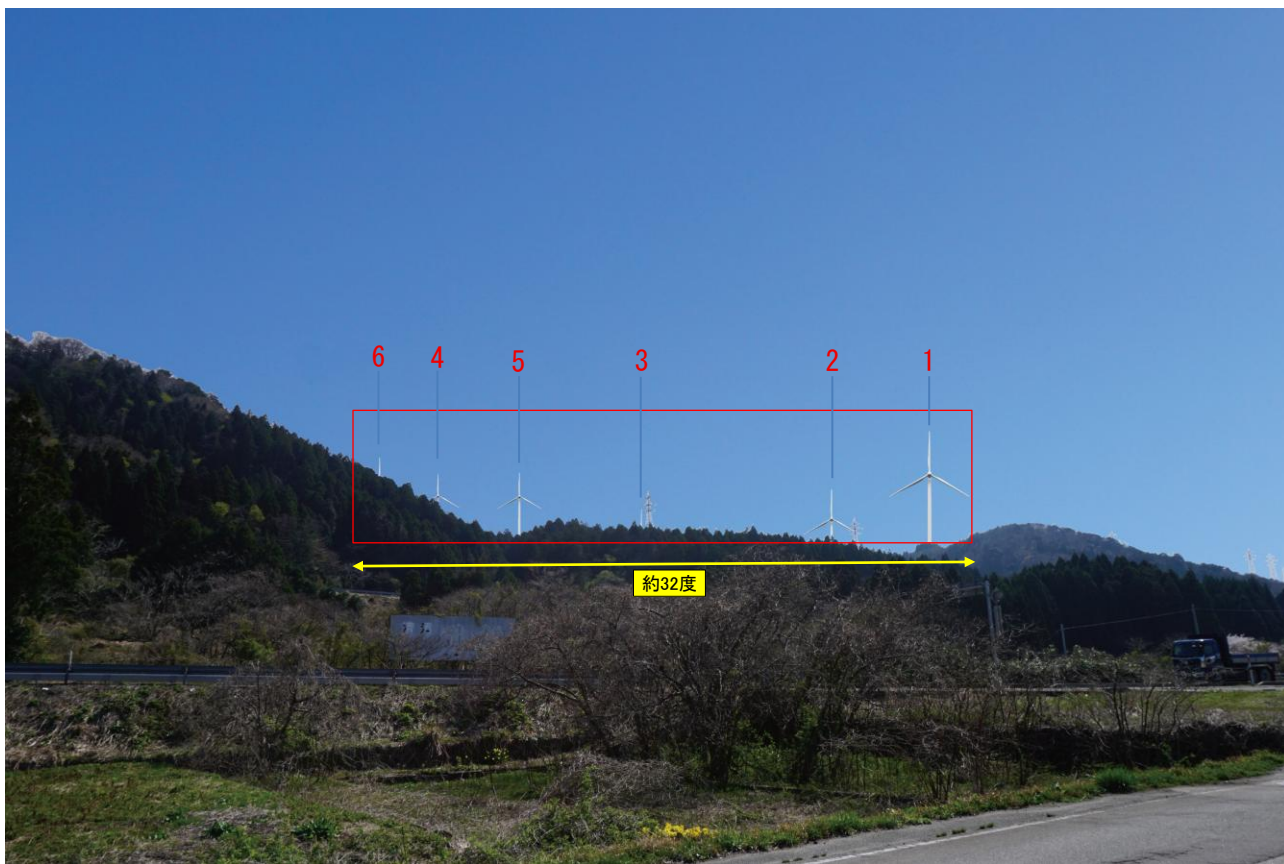
写真の水平画角：約 60 度、撮影方位：南東、撮影日：令和 6 年 11 月 8 日

表 10.1.7-8(10) 眺望景観の変化の予測結果（景観10：境）

【現状】



【完成後】



写真の水平画角：約 60 度、撮影方位：南西、撮影日：令和 7 年 4 月 9 日

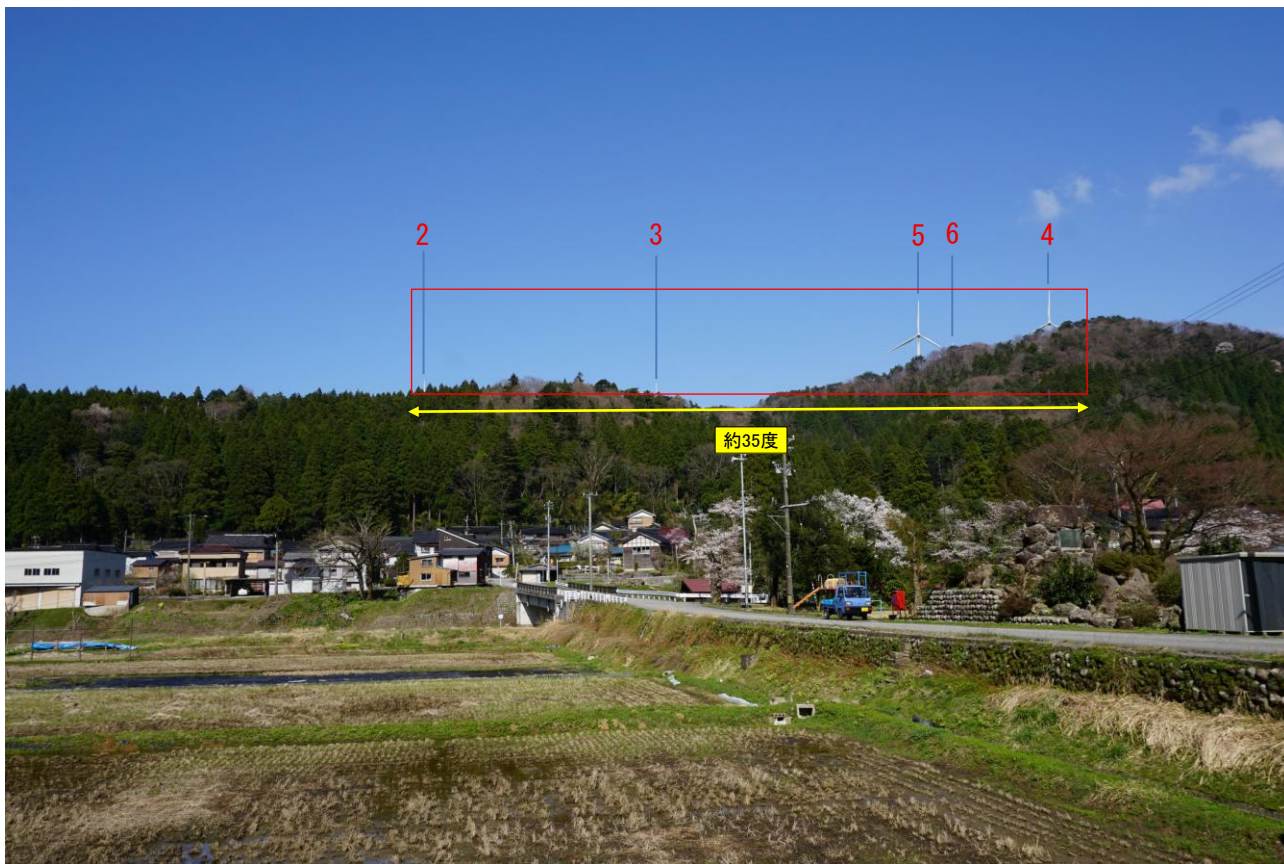
注：風力発電機の背景が晴天時の状況と同様となるよう、画像処理により青空を合成した。

表 10.1.7-8(11) 眺望景観の変化の予測結果（景観11：笹川）

【現状】



【完成後】



写真の水平画角：約 60 度、撮影方位：北東、撮影日：令和 7 年 4 月 9 日

(c) 評価の結果

7. 環境影響の回避・低減に関する評価

地形改変及び施設の存在に伴う景観への影響を低減するための環境保全措置は、以下のとおりである。

- ・風力発電機は、景観との調和を図るため、明度・彩度を抑えた塗装とする。
- ・既存道路等を活用することで樹木の伐採を最小とし、造成により生じた切盛法面は、地盤の状況に応じた適切な緑化を行い、植生の早期回復を図る。
- ・変電設備と風力発電施設を接続する送電線については、可能な限り地中埋設とする。

主要な眺望点、景観資源に対する直接改変がないことに加え、以上の環境保全措置を講じることにより、地形改変及び施設の存在に伴う景観への影響は実行可能な範囲内で低減されていると評価する。

表 10.1.7-9(1) 評価の結果（主要な眺望景観への影響（風力発電機の視認程度））

予測及び評価の項目		影響の有無/程度			主要な眺望点	評価の結果		
		垂直見込角	風車の見え方の知見 ※1	送電鉄塔の見え方の知見 ※2				
主要な眺望景観への影響	風力発電機の視認程度	視認されない	地形条件で遮蔽			景観 07：負釣山	風力発電機は地形条件により遮蔽され、視認できない。	
			植栽・樹林などで遮蔽			景観 06：舟見城址公園	風力発電機は樹木や建造物により遮蔽され、視認できない。	
		0.5 度		約 1.5 度までは、(風車 は見えるが) 気にならない	輪郭がやっとわかる。	(該当なし)	—	
		最大 0.6 度				景観 02：朝日町立ふるさと美術館 (旧なないろ KAN)	眺望の状況に変化はあるが、「風車の見え方の知見」においては、「約 1.5 度までは、(風車は見えるが) 気にならない」であり、「送電鉄塔の見え方」の知見においては、「十分に見えるけれど、景観的にほとんど気にならない。」とされる垂直見込角 1 度以下であることに加え、環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲内で影響に低減が図られている。なお、朝日町立ふるさと美術館 (旧なないろ KAN) の主な眺望方向は、風力発電機方向と異なる。	
		1 度				十分に見えるけれど、景観的にはほとんど気にならない。	(該当なし)	—
		最大 1.1 度					景観 05：舟川べり	眺望状況に変化はあるが、「風車の見え方の知見」においては、「約 1.5 度までは、(風車は見えるが) 気にならない」であり、「送電鉄塔の見え方の知見」においては「シルエットになっている場合には良く見え、場合によっては景観的に気になり出す。シルエットにならず、さらに環境融和塗色がされている場合には、ほとんど気にならない。」とされる垂直見込角は 1.5～2 度以下であることに加え、環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲内で影響に低減が図られている。
		1.5 度			(該当なし)		—	
		(1.5)～2 度			シルエットになっている場合には良く見え、場合によっては景観的に気になり出す。シルエットにならず、さらに環境融和塗色がされている場合には、ほとんど気にならない。	(該当なし)	—	

※1：「平成 28 年度～平成 29 年度成果報告書 風力発電等導入支援事業／環境アセスメント調査早期実施実証事業／環境アセスメント迅速化研究開発事業 既設風力発電施設等における環境影響実態把握 I」（新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、平成 30 年 2 月）（報告書管理番号：20180000000673）

※2：「景観対策ガイドライン（案）」(UHV 送電特別委員会環境部会立地分科会、昭和 56 年)

表 10.1.7-9(2) 評価の結果（主要な眺望景観への影響（風力発電機の視認程度））

予測及び評価の項目		影響の有無/程度		主要な眺望点	評価の結果
		垂直見込角	風車の見え方の知見 ※1		
主要な眺望景観への影響	風力発電機の視認程度	3 度		(該当なし)	—
		最大 3.6 度		景観 03：三峯グリーンランド 景観 11：笹川	眺望状況に変化はあるが、「風車の見え方の知見」においては、「負の意味で風車を気にするようになる」とされる4度以下であり、「送電鉄塔の見え方の知見」においては「やや大きく見え、景観的にも大きな影響がある。架線もよく見えるようになる。圧迫感はありません。」とされる垂直見込角は5～6度以下であることに加え、環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲内で影響に低減が図られている。
		4 度	負の意味で風車を気にするようになる	(該当なし)	—
		5～6 度		景観 08：上の山園地	眺望状況に変化はあるが、「風車の見え方の知見」においては、「風車に対し圧迫感を覚え始める」とされる8度以下であり、「送電鉄塔の見え方の知見」においては「やや大きく見え、景観的にも大きな影響がある。架線もよく見えるようになる。圧迫感はありません。」とされる垂直見込角は5～6度であることに加え、環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲内で影響に低減が図られている。なお、上の山園地の主な眺望方向は、風力発電機方向と異なる。
		最大 7.7 度		景観 01：ヒスイテラス 景観 04：城山公園 景観 09：宮崎 景観 10：境	眺望状況に変化はあるが、「風車の見え方の知見」においては、「風車に対し圧迫感を覚え始める」とされる8度以下であり、「送電鉄塔の見え方の知見」においては「めいばいに大きくなり、圧迫感を受けるようになる。平坦なところでは垂直方向の景観要素としては際立った存在になり周辺の景観とは調和しない。」とされる垂直見込角は10～12度以下であることに加え、環境保全措置を講じることにより、実行可能な範囲内で影響に低減が図られている。なお、ヒスイテラスの主な眺望方向は、風力発電機方向と逆方向である。
		8 度	風車に対し圧迫感を覚え始める	(該当なし)	—

※1：「平成 28 年度～平成 29 年度成果報告書 風力発電等導入支援事業／環境アセスメント調査早期実施実証事業／環境アセスメント迅速化研究開発事業 既設風力発電施設等における環境影響実態把握Ⅰ」（新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、平成 30 年 2 月）（報告書管理番号：20180000000673）

※2：「景観対策ガイドライン（案）」（UHV 送電特別委員会環境部会立地分科会、昭和 56 年）

表 10.1.7-9(3) 評価の結果（主要な眺望景観への影響（風力発電機の視認程度））

予測及び評価の項目		影響の有無/程度			主要な眺望点	評価の結果
		垂直見込角	風車の見え方の知見 ※1	送電鉄塔の見え方の知見 ※2		
主要な眺望景観への影響	風力発電機の視認程度	10～12 度		めいっばいに大きくなり、圧迫感を受けるようになる。平坦なところでは垂直方向の景観要素としては際立った存在になり周辺の景観とは調和しえない。	(該当なし)	—
		20 度		見上げるような仰角にあり、圧迫感も強くなる。	(該当なし)	—

※1：「平成 28 年度～平成 29 年度成果報告書 風力発電等導入支援事業／環境アセスメント調査早期実施実証事業／環境アセスメント迅速化研究開発事業 既設風力発電施設等における環境影響実態把握Ⅰ」（新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、平成 30 年 2 月）（報告書管理番号：20180000000673）

※2：「景観対策ガイドライン（案）」（UHV 送電特別委員会環境部会立地分科会、昭和 56 年）

表 10.1.7-9(4) 評価の結果（主要な眺望景観への影響（景観資源と風力発電機の位置関係））

予測及び評価の結果			景観資源 (景観資源を眺望する 主要な眺望点)	評価の結果
主 要 な 眺 望 景 観 へ の 影 響	景観資源と風 力発電機の位 置関係（重複）	主要な眺望点から対象事業実 施区域を見た場合に、本事業の 風力発電機と同時に視認され る位置関係にあるが、通常の目 視の範囲では特徴を捉えられ ず、特定しがたい。	(該当なし)	—
		本事業の風力発電機と同時に 景観資源が視認されるが、風力 発電機は重複しない。	桜並木 チューリップ畑 (景観 05：舟川べり) 親不知～子不知海岸 (景観 04：城山公園)	眺望の状況に変化はあるが、環境 保全措置を講じることにより実 行可能な範囲で影響の低減が図 られている。
		本事業の風力発電機と同時に 景観資源が視認され、風力発電 機が重複する。	富山湾 (景観 03：三峯グリーン ランド)	眺望の状況に変化はあるが、環境 保全措置を講じることにより実 行可能な範囲で影響の低減が図 られている。
		主要な眺望点より対象事業実 施区域方向を見た場合に、景観 資源が視認されない。	上記以外の景観資源	視認されないため、影響はない。

(白紙のページ)